

FMCT フレンズ 共同閣僚声明

1. 我々FMCT フレンズは、核兵器その他の核爆発装置に用いられる核分裂性物質の生産を禁止する、無差別的、多国間、かつ実効的に検証可能な条約へのコミットメントを新たにするため、ここに集まった。
2. 広島及び長崎への原子爆弾投下から80年という節目を厳かに迎え、我々は「核兵器のない世界」という共通の目標に向けた揺るぎないコミットメントを再確認するとともに、かかる条約が核軍縮及び不拡散に向けた体系的かつ漸進的な努力への重要かつ実践的な貢献となることを強調する。
3. 我々は、かかる条約に対する政治的関心を維持・強化し、国際社会による支持を拡大することの重要性を強調する。この点に関し、我々は、意見交換や、一般への啓発、これまで蓄積された専門的知見や過去の取組を維持・共有することを通じて、パートナー国や関係国を関与していくことに全面的にコミットしている。
4. 我々は、共通の目標のために協働する用意があり、全ての国連加盟国に対し、核兵器その他の核爆発装置に用いられる核分裂性物質の生産を禁止する条約に関する交渉の促進を、優先事項として建設的かつ革新的な貢献を行うよう呼びかける。
5. 我々は、軍縮会議(CD)に対し、いかなる前提条件もなしに、CD/1299 及びそこに含まれるマンデートに基づき、直ちに交渉を開始するよう強く求める。我々は、その点について提起されてきた諸問題に留意し、兵器用核分裂性物質生産禁止条約(FMCT)ハイレベル専門家準備グループ及び政府専門家会合(GGE)の報告書を想起し、条約に関する意見の相違は交渉を通じて取り組み、解決されるべきであることを強調する。
6. 我々は、かかる条約を推進させるための実質的な提案及び、核兵器その他の核爆発装置に用いられる核分裂性物質の生産に関する自発的なモラトリアム、核分裂性物質生産施設の解体又は平和的利用への転換、民生用プルトニウム在庫の報告といったこれまでに取られてきた行動と努力を歓迎し、この観点から、我々は、まだそうした措置を執っていない関係国に対し、このような具体的な行動及び努力を行うよう呼びかける。

(了)